

## もくじ

はじめに…… 4

おひつじ座 二人の子どもを救った羊…… 6

うお座 親子を結んだきずなのリボン…… 12

みずがめ座 神々にお酒をつぐ美しい少年…… 16

やぎ座 あわてんぼうの神パーン…… 22

カシオペア座 王妃カシオペアが招いた国の危機…… 26

ペガスス座 神のいかりを買った勇者…… 32

ペルセウス座 英雄ペルセウスのメドウーサ退治…… 36

くじら座 海の神がつくった巨大なかいぶつ…… 38

全天図 秋の星座…… 39

## みずがめ座

足元にかがやく一等星が目印



### 神々にお酒をつぐ美しい少年

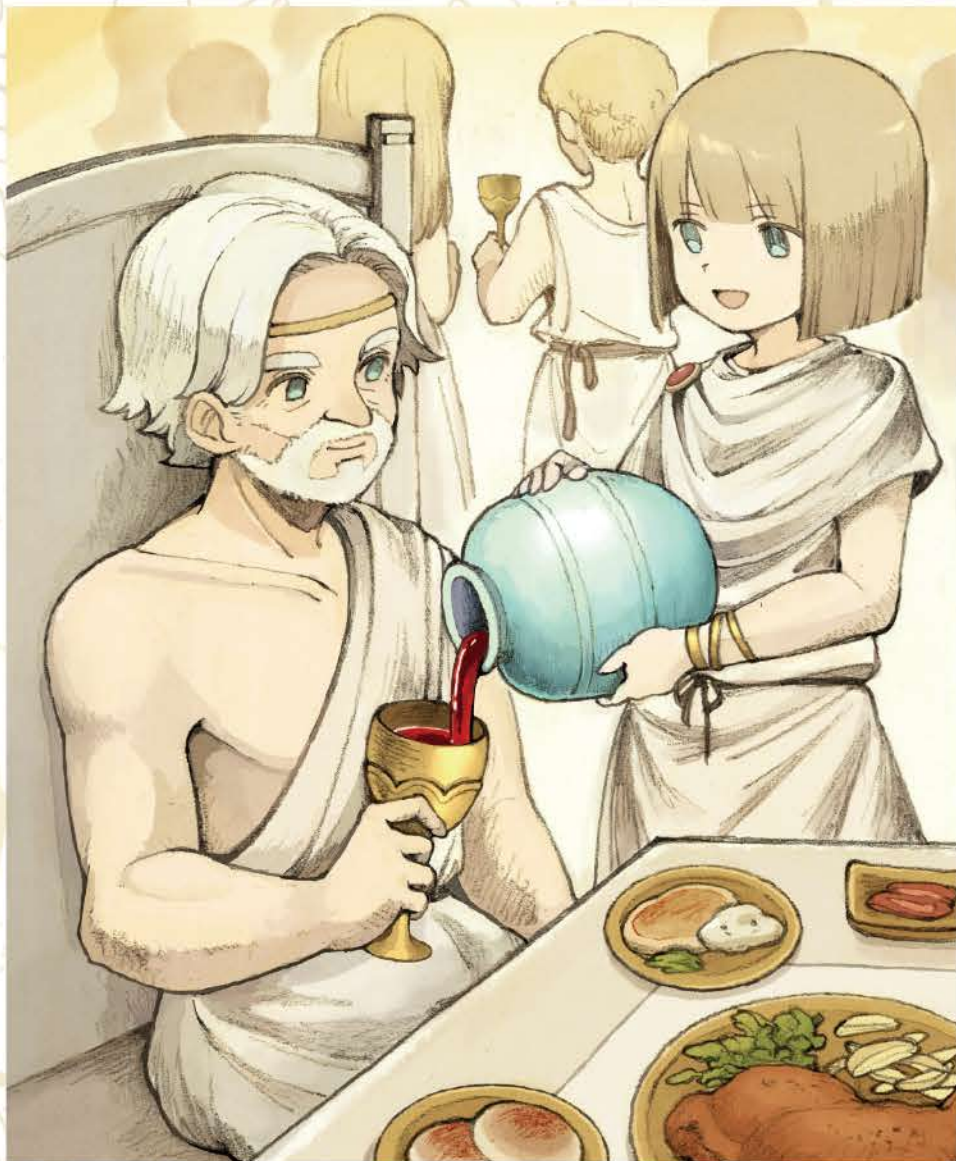
トロイア国に、ガニユメデスというとても美しい羊飼いの少年がいました。少年の美しさは国をこえて、神々が暮らす天上界にも伝わっていたそうです。

ある日、いつものようにガニユメデスが羊の番をしていると、大きなかみなりとともに一羽のおおわしが現れました。何事かと空を見上げるガニユメデス。次の瞬間、おおわしは両脚の大きなツメでガニユメデスをつかまえると、そのまま飛び去っていききました。

この様子を近くで見ていたガニユメデスの父トロースは、大声でさげびました。

「おれの息子を返せ！」

石や木の枝など、足元に落ちていたものを手当たり次第に投げつけます。しかし、すでに空高くまい上がったおおわしには



神々が飲んでいる酒は、真っ赤なルビー色をした「ネクタル」という酒です。この酒を飲むと不死になるといわれています。

トロースの予想通り、若者は伝令の神ヘルメスでした。ガニメデスは美しい姿を保ったまま神々にお酒をつぐ仕事を続け、その姿はみずがめ座として夜空にかがやくようになりました。トロースたちは、地上から毎晩夜空を見上げ、息子の幸せをいのり続けたそうです。

なお、天界に連れ去られたガニメデスは、自分があたえられた仕事を受け入れながらも、地上に残してきた両親や羊を心配していたそうです。とくに、生きるために必要な「水」について気にしていました。

「ゼウスさま、地上で水に困っている人々を、私の力で救うことはできますか？」

ガニメデスの優しい心に感動したゼウスは、地上に自由な水をあたえる「雨の神」の力をかれにあたえました。みずがめ座がみずがめをかかえた姿をしているのは、このガニメデスの水の力を意味しているのです。